

第6回国際委員会

日時: 7月5日(木)

場所: 名古屋栄ビル

参加者: 委員長の**大島副会長**をはじめ39名

今回で6回目となる「国際情勢をテーマとする連続講演会」では、三菱商事(株)調査部経済調査チームよりリーダーの大野太郎氏ならびに課長の桜井大地氏を講師に迎え、「ASEANの現状と見通し」をテーマにご講演いただいた。

大野氏は、ASEAN経済の概要、世界経済との対比、今後の注目点と中国経済の影響について解説した。桜井氏は、ASEAN主要国(タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム、ミャンマー)の政治・経済の現状と動向、「一帯一路」政策を推進する中国に対する各国のスタンスならびにビジネス環境について説明を行った(本誌9月号に講演要旨を掲載予定)。



会議を進める大島副会長

あわせて事務局から、海外から見た当地域の魅力向上策の提案書作成に向けて、中部在住の外国人(経営者・幹部、一般、留学生)を対象に実施しているアンケート調査

の進捗報告を行った。また、来年度に本委員会で開催する連続講演会のテーマについて、委員と議論を交わした。

(国際部 平山りえ)

第1回税制委員会

日時: 7月9日(月)

場所: 名古屋栄ビル

参加者: 委員長の**上田副会長**をはじめ18名

本委員会では、わが国の中長期的な課題の解



意見交換の様子、左から田代副委員長(パローホールディングス会長兼社長)、小林副委員長(カネソウ会長)、上田委員長

決や、経済社会の発展に資する税制の提言を主たる任務としている。

委員会の第1部では、前年度活動の報告および今年度税制改正要望の策定に向けた主要論点の審議を行った。

審議では、今年度税制改正がなされた事業承継税制に対する評価、2019年10月に控える消費税率引き上げに関連する対応、税務手続きの負担軽減、働き方改革や人手不足への対応、わが国の財政再建に向けた抜本的な税制改革の必要性などについて、幅広く意見交換が行われた。

第2部では、関西大学常務理事・名誉教授の矢野秀利氏を講師に迎え、「ベーシック・インカムと所得税制」をテーマに、近年議論が盛り上がりつつあるベーシック・インカムについて、わが国の所得税制改革という視点からご講演いただいた。



ご講演いただいた矢野氏

また、わが国の所得税制改革が進まない要因について、源泉徴収・年末調整等の制度が整備されているため、所得税を納めている実感が希薄気味になり、結果として国民の問題意識が低下しているという問題提起がされた。

本委員会は、9月上旬の「2019年度税制改正に対する意見書」の取りまとめに向け、引き続き検討を深める予定である。

(調査部 大西 一樹)